

学校法人梅村学園
(中京大学)
理事長
梅村清英



常に変わり続けてきた中京大学。
長期計画「NEXT10」に沿って
総力戦でさらなる高みを目指す

18 歳人口の漸減が進む今日、これからの10年が大学の未来に重要な意味をもつことは言うまでもありません。中京大学は1954年の開学以来、常に「変わり続ける」とを自らに課し、時代の要請に応じて学問領域の拡大に取り組んできました。そして今、名古屋と豊田の2キャンパスに11学部18学科を擁する、中部地区を代表する総合大学に発展したと自負しています。

これからも私たちは変わり続けます。2014年には開学60周年を迎え、次の10年のさらなる飛躍のために長期計画「NEXT10」を策定しました。そこでは「しなやかに挑み続ける新生・中京大学」を掲げ、教育、研究、

社会連携、国際化、卒業生連携という5つの骨子に沿って本学が進むべき姿を明確にしました。

すべてを語るには紙幅が足りませんので、「教育」について申し上げます。本学の建学の精神「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」は、幕末の水戸学の文武不岐の精神を受け継いでいます。NEXT10では、そこに「自ら考え、行動することのできる、しなやかな知識人を育成し、自立した人間として社会へ送り出す」という教育目標を設けました。時代を力強く切り開く人材の創出という意味です。そのためには、時代ごとに最高の教育を提供できる環境が必要になります。これまでも中京大学といえば、建物や教育・ス

ポーツ施設で注目されがちでした。しかし本学は常にその分野のトップクラスの講師を招聘し、教育・研究の質的向上に注力してきました。私が以前教鞭をとった経済学部では、すべての専任教員が博士号の取得者です。これほど充実した教育・研究環境は全国的にも珍しいのではないのでしょうか。

教育の質を示す指標に、難関資格における合格率があります。本学では資格センターが各種資格や公務員・教員採用試験の対策講座を開講しています。こうしたサポートと、高い研究・教育が相乗効果をもたらし、8年連続で国家公務員採用総合職試験に現役合格者を出しています。

NEXT10の実現には、教職員をはじめ本学にかかわるすべての人の積極的な参加が不可欠です。そこで早くから教職員による5つの部会を公募し議論を戦わせてきました。今日も「学ガバナンス」や「教育構造会議」などの重点化プロジェクトが次々と誕生し、総力戦で飛躍を支えようという気運が盛りあがっています。これを見る限り、中部地区ナンバー1の私大になるという夢も遠い日のことではないと思っています。

【理事長プロフィール】うめむら・きよひで●1969年生まれ。中京大学経済学部卒業、同大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学。博士(経済学)。中京大学経済学部講師、助教授を経て2006年に教授。経済学部長、大学院経済学研究科長を歴任後、13年より現職。

【大学プロフィール】1954年中京短期大学開学、56年中京大学開学。11学部18学科、ビジネススクールとロースクールを含む11研究科を擁する総合大学。ハイレベルなスポーツ教育でも知られ、チオオリンピックには7人の代表選手を輩出。